

『時事直言』 No.1160 2017年4月24日

時事直言ホームページ：<http://chokugen.com>
時事直言 携帯サイト：<http://mobile.chokugen.com>
FAX：03-3956-1313



時事評論家 増田俊男

フランス大統領選と EU(欧州連合)

「Brexit(英国 EU 離脱)、トランプ誕生、イタリア憲法国民投票は欧州国民を EU 離脱に向かわせ、やがて EU は崩壊するだろうと言われるが、それはとんだ間違いである」と小冊子 Vol.88(4月4日発売)で述べている。

今回のフランス大統領選第一回投票で従来の政党に属さぬマクロン氏が高得票率を得たことは 60 年間続いたフランスの政治体制に対する国民の否定であり中小企業の疲弊、高失業率のフランス経済の責任を問うものである。又続くルペン氏の得票は EU への不満でもある。

私は 3 月 21 日のワシントン DC での防衛会議(CIA の対トランプ仕掛けの対応協議)を終えてからパリとモナコで EU の今後について欧州マスコミ(ル・モンド)とプライベートバンカー(ロスチャイルドと HSBC)と話し合った。

Brexit、トランプ誕生、イタリア国民投票などと同じくフランス大統領選の結果(初めから決まっていた)も欧州独占資本の「EU 強化策」以外の何物でもない。

トランプ誕生の目的は、今までアメリカの国内政治を牛耳り、欧州、中東、アジアで政治覇権をほしいままにしてきた「軍産」(CIA、ペンタゴン、軍需産業、FRB、マスコミの連合体)をホワイトハウスの管理下に置くことである。

だからトランプはプーチンと組んで軍産の仕掛けに乗った振りをして CIA の懐刀の ISIS 撲滅を計り、又 CIA のエージェントの北朝鮮に CIA の指示通り見せかけの軍事圧力をかけた振りをして本当に攻撃する準備をペンタゴンに命じ軍産を慌てさせている。

Brexit、イタリア選挙、フランス大統領選は、利権に胡坐をかいて硬直化している EU を「潰すぞ」と脅して引締め、強化する為である。

それもこれも根底に流れているのは「世界統一政府」である。

目先のことで EU が危ないとか、パックスアメリカナの終焉など口にするのはまだ早い。

今のところ「すべて細工は流々」と言ったところ。

増田俊男の「目からウロコのインターネット・セミナー」大好評配信中！

1ヶ月わずか約¥1,000！ご契約は1年単位になります

現在大好評配信中！「目からウロコのインターネット・セミナー」！視聴期間はお申込み翌月より12ヶ月となりますのでお申込み月は無料でご視聴頂けます。1か月の平均配信回数は4~6回になります。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX:03-3956-1313、HP:www.chokugen.com) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX:03-3956-1313) までお知らせ下さい。